



# セゾン投信 月次運用レポート

## 長期投資家の皆様へ

年初から続いた世界の株式市場混乱は、ようやく落ち着きを取り戻しつつあります。中国経済の失速に対しては、34兆円規模と言われる追加財政投入が全人代で打ち出されたことによるカンフル剤効果で、足元の危機は封じ込まれ、先のG20での資本規制やむなしのムードも当面の中国市場安定の下支えとなっています。

そして一方向の原油安にも歯止めがかかり、市場に1バレル=40ドルあたりの低位安定コンセンサスが出来たことで、先進国市場では資源安からの実体経済への恩恵にも、徐々に目が向けられ始めています。

米日欧の企業業績は決して楽観的な見通しにはなっていないものの、景気全体を損なうほどの悲観でもなく、現状レベルの株価水準が落ち着き処としての当面の市場コンセンサスになって来ているように感じます。

日欧揃ってのマイナス金利政策は、その実効性を疑問視する声も少なくありませんが、いづれも量的緩和との併用が前提である限りにおいて、マネーをリスクオン方向へと誘導する効果は、やがて相応に現れて来るはずで

マーケットでは今、米国の利上げペースが最大の関心事のひとつとなっており、米金融当局関係者の発言に為替も株式市場もビビッドに反応していますが、更なる利上げは米国経済の底堅さの裏付けによって判断されると共に、世界の金融市場動向への配慮も併せた慎重さをイエレン議長は示していて、決して悪材料というわけではありません。

「セゾン号」は、年初からの相場下落トレンドでも全くスタンスを変えることなく、皆さまから投入いただいた資金を丁寧に、割安な資産購入へと充当して来ており、今後の成果につながる行動が出来ていると考えています。まだ暫し、短期的には荒っぽい値動きの局面も想定されますが、泰然自若と進んでまいります！

中野 晴啓

## ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口：03-3988-8668（受付時間9:00~17:00 土日祝日、年末年始除く）

# セゾン資産形成の達人ファンド

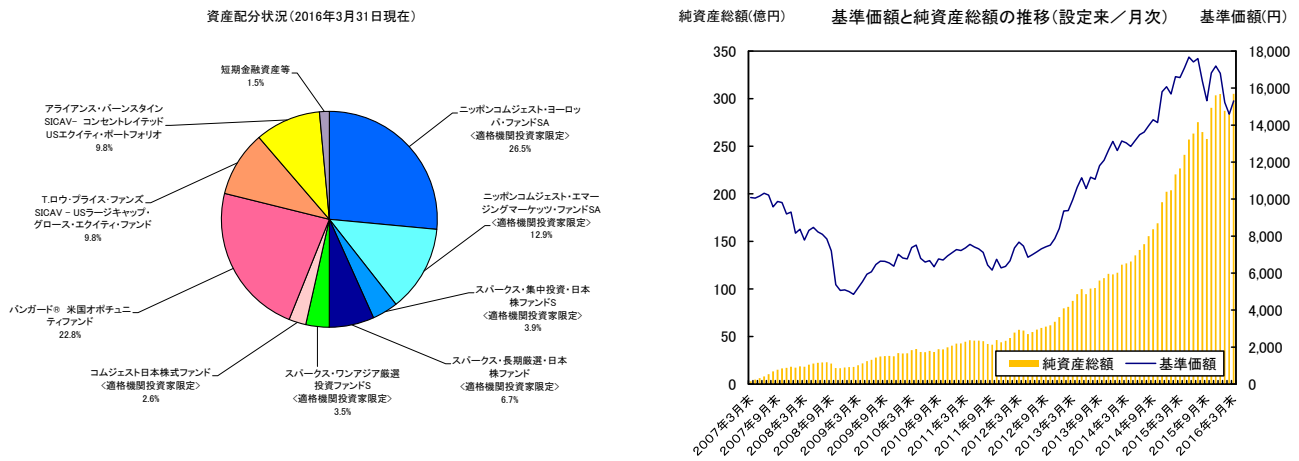
## 3月の市場動向

**株式：**【原油価格が上昇基調となるなかで、ユーロ圏で金融緩和の拡大が打ち出されたほか、米国で利上げの先送り観測が強まり上昇】原油価格が上昇基調となったことでリスク回避姿勢が後退するなかで、ユーロ圏で追加の金融緩和策が打ち出されると共に、米国で景気の先行きへの懸念が後退するなかでも利上げペースが緩やかなものになるとの見方が確認され、安心感が広がって上昇しました。

**為替：**【ドルが下落し、ユーロが堅調。円はリスク回避志向が後退して反落し、対ドルではほぼ変わらず、対ユーロで下落】米国の利上げペースが緩やかなものになるとの見方が確認されドルが下落する一方で、追加の金融緩和策が打ち出されたものの、一段の利下げが否定されたことを受けてユーロが堅調な展開となりました。2月に大きく上昇した円はリスク回避姿勢の後退を受けて反落しました。

基準価額と純資産総額及び騰落率（2016年3月31日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
15,304円	305.1億円	+53.04%	+4.88%	-0.08%	-7.66%



## 3月の運用状況

### 今月の投資スタンス

今月は、中盤に TMA 長期投資ファンドを全額売却し、その売却資金を利用して新しく投資対象ファンドとなったコムジェスト日本株式ファンドへの投資を開始しました。その後は、定期積立プランでのご購入などにより、皆さまからお預かりした資金を利用して、コムジェストヨーロッパファンド、バンガード米国オポチュニティファンド、スパークス・ワンアジア・厳選投資ファンド、コムジェスト日本株式ファンド、T.ロウ・プライス米国大型グロースファンド、アライアンス・バーンスタイン米国株式集中投資ファンド、コムジェストエマージングマーケットファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月とほぼ変わらず、月末時点で1.5%となっております。

### ファンドマネジャーからの一言

3月から日本株式への投資を行うコムジェスト日本株式ファンドへの投資を開始致しました。当ファンドは、2008年から投資を開始し、現在まで良好な運用成果を生み出しているコムジェストヨーロッパファンド、エマージングマーケットファンドと同じ、持続的に高い成長が期待できる企業に割安と考えられる価格で集中的に投資を行うファンドです。

コムジェスト社は、1985年の創立当初から日本株式の運用を行っており、特に2009年からは日本株式の運用体制を強化しています。当社としては、日本においても資本効率への関心が高まるなかで、コムジェスト社の質を伴った長期的な成長を重視する投資アプローチの有用性が高まると考え、新たな投資対象候補ファンドとして、定性及び定量面からの調査を行い、他のファンドとも比較を行った上で、組入れを決定致しました。

一方、2008年から投資を行って参りました、個別銘柄の選別を重視しながら国内外の株式に柔軟な資産配分を行う TMA 長期投資ファンドは、投資先ファンドが担う役割を個別銘柄の選別に集中する方針の下、全額を売却し、日本の株式市場へは、スパークス・集中投資・日本株ファンド、スパークス・長期厳選・日本株ファンドにコムジェスト日本株式ファンドを加えた3本のファンドを通じて投資を行って参ります。

当ファンドでは引き続き、地域的な分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な市場の動向ではなく投資対象の価値を重視して株式投資を継続することで、リスクを抑えながら皆様の長期的な資産形成に資することが出来るよう努めて参ります。

運用部 瀬下 哲雄

## 基本的な投資スタンス

私共が投資対象としているファンドは、いずれも中長期的な視点で投資を行っておりますが、保有している株式が割高となった場合やより良い投資機会を発見した場合、投資先の状況に大きな変化があった場合等については銘柄の売却を行うことがあります。もちろん、どのファンドも長期投資の理念を共有しており、短期的な売買を繰り返すことはありません。

私共は各投資対象ファンドについて、各ファンドがカバーする銘柄選択の対象を幅広くすることを意識しながら目標とする地域及びファンド毎の配分比率を決定します。その上で、主にファンドの購入により配分比率の調整を行っております。もちろん、短期的な市場動向の予測に基づいて投資先ファンドの売買を行うことはございません。

当ファンドでは、各投資対象ファンドがファンダメンタル分析に基づく中長期的な視点から各銘柄への投資を行い、その上で私共が十分に国際分散を図ることができるように資産配分を行うことで、皆様の長期的な資産形成に資するよう運用を行っております。

## 当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## 当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.5832%（税抜0.54%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%（概算）となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）および立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

当該手数料の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

### セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口：03-3988-8668（受付時間9:00~17:00 土日祝日、年末年始除く）